

## ノースアメリカン F-86F セイバー

MONOCHROME 1/144スケールプラスチックキット  
製作・文 政府開発援助

### 1. F-86Fについて

F-86「セイバー」シリーズは1948年にアメリカで試作機がロールアウト、以来A型～L型までの各タイプが開発され、世界25ヶ国で運用された。航空自衛隊では180機のF-86Fの供与を受け、次いで300機が国内（三菱重工）で生産された（一部の機体は後に偵察機型RF-86F等に改修されている）。制限速度マッハ1.0、固定武装として12.7mmバルカン砲を6門装備し、ミサイル・爆弾等の運用も可能であった。

### 2. キットについて

モノクロームのF-86Fセイバーのキットは航空自衛隊バージョンと朝鮮戦争バージョンが発売されましたが、航空自衛隊の方は限定生産のようです。キットの内訳は6-3ウイングのF-86F-30と翼端を延長したF-86F-40が1機ずつ（胴体ランナーは共通）の2機セットとなっています。このキットの良いところは、左右つながっていて後ろからはめ込む水平尾翼やダボ穴が長方形の脚柱等、取り付け角度がピタリと決まるように工夫されているところです。エアブレーキは開閉選択できます。キャノピーは前後分割されており抜群の透明度です。離型剤はかなり強固に残っているので、注意が必要です。



前面より

### 3. 製作と塗装について

離型剤をクレオスのペイントリムーバーで拭き取った後パーツの洗浄を行い、ほぼストレートに組み立てています。三点着陸をさせる為、釣り用の極小オモリをコクピットと脚収納部の隙間を中心に3.5個分（約1弱）入れました。脚カバー等に定番の薄々攻撃を行った他、増槽のフィンをケント紙で作っています。塗装はクレオスの8番の銀を吹いた後、一部のパネルに沿ってガンダムマーカー等で塗り分けて色味を変えてみました。脚収納庫等はエナメル系の調合色の筆塗りです。キットの凹モールドがかなりはっきりしているので、スミ入れは機銃孔にだけ行いました。付属デカールを使用し、航空自衛隊供与1号機としています。



後面より

### 4. 途中画像



機首内部に尻餅防止用の釣り用オモリを接着。水平尾翼は差し込み式。



増槽のフィンがケント紙にて自作している。



基本色を吹き付けた後、どの銀色をアクセントにするか検討しているところ。



デカール貼り直前の状態。凹モールドが目立つので墨入れは控えめにした。